

## 稲 WCS 専用極短穂中生品種「つきあやか」の栽培実証

### 要約

中生の稲 WCS 専用品種「つきあやか」の栽培実証を行った。極晩生の「つきすずか」と比較した場合、「つきすずか」と同様に穂が少なく高収量であること、収穫適期が9月後半であるため二毛作に適することが確認できた。

### ○ 展示のねらい

現在 WCS 用稲の栽培が増加しており、那須地域においては稲 WCS 専用品種の「つきすずか」が普及している。管内では WCS 用稲とイタリアンライグラスの二毛作が盛んであるが、「つきすずか」は極晩生であるため二毛作に適していない。一方、中生の専用品種である「つきあやか」は「つきすずか」と同様に高収量、良質なサイレージ発酵が期待できる。そこで二毛作を行っている農家向けに「つきあやか」を普及すべく、地域適性を調べることを目的として栽培実証を行った。

	品種	早晚性	面積
試験区	つきあやか	中生	30a
対照区	つきすずか	極晩生	30a

### ○ 主な成果

- ・ 収量調査時の「つきあやか」は黄熟期で水分60%、「つきすずか」は乳熟期で水分69%であった。
- ・ 乾物収量は「つきあやか」が1.5t/10a、「つきすずか」が1.6t/10aであり、穂重割合は「つきあやか」が2.6%、「つきすずか」が2.0%であった。
- ・ 「つきあやか」は「つきすずか」と同様に穂が少なく高収量であること、収穫適期が9月後半であるため二毛作に適することが確認できた。

表1 生育調査結果

品種	移植日	出穂日	収穫日	草丈 (cm)	稈長 (cm)	茎数 (本/株)	熟度
つきあやか	6/3	8/21	9/22	136	103	22.8	黄熟度
つきすずか	6/3	9/15	9/22	144	113	21.7	乳熟期

表2 収量調査結果

品種	生全重	生茎葉重	生穂重	乾物全重	乾物茎葉重	乾物穂重	穂重割合 (%)
	(kg/10a)						
つきあやか	3,797	3,743	54.5	1,510	1,470	39.9	2.6
つきすずか	5,083	5,023	60.0	1,598	1,565	32.6	2.0

### ○ 今後の方向性

那須地域における WCS 用稲とイタリアンライグラスとの二毛作では、中生の「つきあやか」の作付を推進する。

実施機関：那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：大田原市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315